

クラスワンSeaの性能

環境に影響を与えない証明書

参考

油処理剤性能基準

試験項目	判定基準	試験方法	
引火点 (°C)	摂氏61度を超えるものであること	船査第52号 (昭和59年2月)	
動粘度 (30°C mm ² /s)	摂氏30度において50 mm ² /s以下であること		
乳化率 (%)	30秒後		60%以上
	10分後		20%以上
生分解度 (%)	90%以上		
対生物毒性 (ppm)	スケルトネマ・コスタツム	100 ppm以上	
	ヒメダカ (LC50)	3000 ppm以上	
比重 (15/15°C)	(判定基準なし)		
色度	(判定基準なし)		
分留性状	(判定基準なし)		

油を分解する速度

微生物が油を食べる速度

対菌毒性

生物毒性

様式第1

保総試第31号

試験成績書

伸榮産業株式会社
代表取締役 今西 忠雄 殿

- 油処理剤の品名 クラス・ワンSea
- 試験年月日 平成30年4月10日～平成30年5月22日
- 試験の結果

試験項目	試験結果	試験方法	
引火点 (°C)	78	船査第52号 (昭和59年2月)	
動粘度 (30°C mm ² /s)	6.42		
乳化率 (%)	30秒後		88.6
	10分後		78.6
生分解度 (%)	99.5		
対生物毒性 (ppm)	スケルトネマ・コスタツム		1,000以上
	ヒメダカ(LC50)		38,000
比重 (15/15°C)	0.8088		
色度	L1.0		
分留性状	別紙のとおり		

試験した結果、上記のとおりであることを証明します。
平成30年5月25日

海上保安庁総務部
海上保安試験研究センター 所長

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4版とすること。